

授業科目名	政治過程論		
科目番号	BB31111	単位数	2.0 単位
標準履修年次	2 - 4 年次	時間割	秋 AB 火 2,3
担当教員	近藤 康史		
授業形態	講義		
授業の目標と概要	政治過程の諸理論と具体的なケースを取り上げて検討し、日本の政治過程が持つ特徴と近年の変化について、他国との比較も交えつつ理解することを目指す。それらを通じて、各人が、身近な素材を利用して、自分なりに政策過程を分析したり、日本政治について考えたりできるようになることも目標とする。		
授業の進行予定	(1) イントロダクション:新聞の「政治過程論的」読み方 (2) 政治過程に関する諸理論:利益・制度・アイデア (3) 政治過程の諸段階:課題設定、政策決定、政策実施、政策評価 (4) 政治過程のアクター 1:官僚 (5) 政治過程のアクター 2:政治家と政党 (6) 政治過程のアクター 3:利益集団と社会運動 (7) 政治過程の制度:議会と執政部 (8) 日本型政治過程の構造:政官スクラムと鉄の三角形 (9) 日本型政治過程の変容:首相(官邸)主導に向けて?		
単位取得要件	学期末試験により判定。		
授業外の予習復習方法	講義ではパワーポイントを用い、スライドのレジメを教材として毎回配布する。また参考文献についても講義中に適宜紹介する。予習復習には、これらの教材・参考文献を利用すること。		
教材等	教科書は特に指定しない。参考文献は講義中に適宜紹介する。		
オフィスアワー	火曜日 15:00~16:00 人文社会学系棟 B412		
学生への要望			

授業科目名	比較政治学		
科目番号	BB31131	単位数	2.0 単位
標準履修年次	2 - 4 年次	時間割	春 AB 金 1,2
担当教員	鈴木 創		
授業形態	講義		
授業の目標と概要	比較政治学の主要な理論や概念を紹介し、各国の政治がどのように位置づけられるかを考察する。		
授業の進行予定	以下の流れで講義を進める予定。ただし、進み具合などによって変更する可能性もある。 1. 比較政治学とは 2. 政治体制と政治制度 3. 政治文化 4. 民主化 5. 政党と政党システム 6. コーポラティズム 7. 福祉国家		
単位取得要件	学期末試験		
授業外の予習復習方法			
教材等	レジュメを配布するので、事前に目を通して授業に臨むこと。 教科書は特に指定しないが、講義の一部は次のテキストに沿って行う。 真柄秀子・井戸正伸『改訂版比較政治学』(2004年、放送大学教育振興会) 参考文献は授業の中で随時紹介する。		
オフィスアワー	予約により随時。 人文社会学系棟 B408 853-5884		
学生への要望			

授業科目名	国際関係史序説		
科目番号	BB31171	単位数	2.0 単位
標準履修年次	1・2 年次	時間割	春 AB 木 3,4
担当教員	大友 貴史		
授業形態	講義		
授業の目標と概要	時代、地域によって、どのような原則・理念が国家間の行動に影響を与えてきたかが説明できる。		
授業の進行予定	授業計画 (Schedule)* 1. イントロダクション 2. アメリカ外交政策の軸 3. 普遍性から均衡へ 4. ヨーロッパ協調 5. リアルポリティークの独走 6. 第一次世界大戦前夜のヨーロッパ外交 7. 第一次世界大戦にいたる軍事的仕組み 8. ウィルソンとベルサイユ条約、ヒトラーとベルサイユ体制の崩壊 9. 第二次世界大戦 10. まとめ (*若干変更する可能性があります。)		
単位取得要件	出席 30%、期末試験 70% をもって評価します。		
授業外の予習復習方法			
教材等	ヘンリー・A・キッシンジャー (岡崎久彦監訳) 『外交 (上)』日本経済新聞出版社 1996。 (オリジナルは、Henry A. Kissinger, Diplomacy (NY: Simon & Schuster, 1994).)		
オフィスアワー	メール等でまずアポイントメントをお取りください。 人文社会学系棟 B808 x6512, takafumi-ohmoto@u.tsukuba.ac.jp		
学生への要望			

授業科目名	国際紛争論 I		
科目番号	BB31181	単位数	2.0 単位
標準履修年次	2 - 4 年次	時間割	春 AB 月 4,5
担当教員	南山 淳		
授業形態	講義		
授業の目標と概要	冷戦後/9.11 後の世界において拡大するグローバル化の影響は、世界経済のみならず国際安全保障や地域紛争の領域にも深く浸透している。そのような状況下「安全保障の再定義」の問題が緊急の課題として浮上している。本講義では、これまでの安全保障研究ならびに国際紛争研究の蓄積をふまえ、ポスト・ウエストファリア体制下における安全保障の理論的動向について検討する。そのために、安全保障および国際紛争に関する基礎概念と方法論に加えて、安全保障を狭義の国家安全保障および軍事安全保障に限定することなく、政治・経済・社会・文化領域においてグローバルに展開する複合現象として論じる。本講義は「国際紛争論 II」の導入編に位置づけられているため併せて履修することが望ましい。		
授業の進行予定	<ol style="list-style-type: none"> 1) 本質的論争概念としての安全保障 (security) -安全保障/恐怖の政治学- 2) 冷戦の終焉とグローバル化-拡大/深化する安全保障構造- 3) 国家安全保障と伝統的安全保障研究 (戦略研究) 4) 国際安全保障と拡大主義的安全保障研究 5) 構造的暴力/積極的平和と平和研究 6) 人間の安全保障の両義性 7) 事例研究:日米同盟をめぐる国際政治力学と日米安保体制の中の沖繩 		
単位取得要件	学期末試験によって評価する。		
授業外の予習復習方法			
教材等	<p>特定に教科書は使用しないが、講義全体の参考書として以下の文献を参照すること。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. J.S. ナイ,Jr. 『国際紛争〔原著第 9 版〕』(有斐閣) 2. J. ベイルス他編 『戦略論』(勁草書房) 3. M. カルドー 『新戦争論』(岩波書店) 絶版 4. A.Collins,ed., Contemporary Security Studies, 3rd.ed., Oxford U.P., 2013. 5. 日本平和学会編 『平和を考えるための 100 冊 + 』(法律文化社) 		
オフィスアワー	<p>随時 (要予約)</p> <p>E-mail: minamiyama.atsush.ff@u.tsukuba.ac.jp</p>		
学生への要望	自分自身の問題意識を発見してください。		

授業科目名	国際紛争論 II		
科目番号	BB31191	単位数	2.0 単位
標準履修年次	3・4 年次	時間割	秋 AB 月 4,5
担当教員	南山 淳		
授業形態	講義		
授業の目標と概要	冷戦後/9.11 後世界における国際紛争の構造的性質を考察する。本講義においては、特にグローバル化の拡大とアイデンティティ・ポリティクスという新しい現象によって引き起こされる現代国際紛争の構造変動過程に焦点をあてる。あわせて、近年、急速な発展を遂げている国際紛争・安全保障に関する新しい理論動向について詳しく論じる。本講義は「国際紛争論 I」の後編部に位置づけられているので併せて履修することが望ましい。		
授業の進行予定	1)9.11 後の世界と錯綜する「古い戦争」と「新しい戦争」 2) 安全保障の本質的論争性と批判的安全保障研究 (Critical Security Studies) の成立 3) 批判理論 批判的安全保障研究 (1) 4) ポスト構造主義 批判的安全保障研究 (2) 5) セキュライゼーション理論 批判的安全保障研究 (3) 6) ポストコロニアリズム 批判的安全保障研究 (4) 7) 事例研究:ポスト近代戦争としての「対テロ戦争」 自爆テロ・ロボット兵器・民間軍事会社		
単位取得要件	学期末試験によって評価する。		
授業外の予習復習方法			
教材等	特定の教科書は使用しないが、講義全体の参考書として以下の文献を参照すること。 1. M. カルドー 『新戦争論』(岩波書店) 絶版 2. 南山 淳 『国際安全保障の系譜学』(国際書院) 3. A.Collins,ed., Contemporary Security Studies, 3rd.ed., Oxford U.P., 2013. 4. C.Peoples & N.Vaughan-Williams, Critical Security Studies: An Introduction, Routledge,2010 5. 日本平和学会編 『平和を考えるための 100 冊 + 』(法律文化社)		
オフィスアワー	随時 (要予約) E-mail: minamiyama.atsush.ff@u.tsukuba.ac.jp		
学生への要望	自分なりの問題意識を発見してください。		

授業科目名	カナダ政治		
科目番号	BB31261	単位数	2.0 単位
標準履修年次	2 - 4 年次	時間割	秋 AB 月 1,2
担当教員	岩崎 美紀子		
授業形態	講義		
授業の目標と概要	<ul style="list-style-type: none"> ・カナダの諸地域の特徴を把握する。 ・2つの地域主義(ケベックナショナリズムと西部地域主義)を理解する。 ・財政再建の理念と手法、財政再建と行政改革が連動した理由を説明できる。 		
授業の進行予定	<p>まずカナダの地理と歴史の概要を把握する。建国の歴史を通じてカナダとアメリカの政治文化の違いと国家政府のあり方の違いをつかむ。自由党政権の財政再建がなぜ成功したかを分析する。ケベックナショナリズムと西部の殊外などカナダ国内の地域主義が国家統合にどのような影響を与えているかを、文化、社会、政治、経済などの側面から重層的につかむ。小テストを3回程度実施する。</p>		
単位取得要件	<ul style="list-style-type: none"> ・授業回数の3分の2以上の出席が単位認定のためのレポート提出資格。 ・成績は、小テストとレポートで評価する。 		
授業外の予習復習方法			
教材等	<p>教科書: 『行政改革と財政再建 -カナダはなぜ改革の成功したのか-』 御茶の水書房 『カナダの政治』 ミネルヴァ書房 『カナダの歴史』 山川出版社 『分権と連邦制』 ぎょうせい 『カナダ連邦制の政治分析』 御茶の水書房</p>		
オフィスアワー	事前に Email で連絡しアポイントメントをとる。		
学生への要望			

授業科目名	国際関係史		
科目番号	BB31271	単位数	2.0 単位
標準履修年次	2・3 年次	時間割	春 C 火・金 3,4
担当教員	クラインシュミット ハラルド		
授業形態	講義		
授業の目標と概要	The course shall focus on changes of patterns of interactions within and across international systems and modes of behavior of major governments and non-government actors. Emphasis will be laid on the interpretation of selected sources from which the significance of the various types of actors can be gleaned.		
授業の進行予定	第 1 回 The Thirty Years War 第 2 回 The Westphalia Peace Treaties 第 3 回 The Era of French Domination 第 4 回 Various Models of the Balance of power 第 5 回 The War of the Spanish Succession 第 6 回 War and Diplomacy in Europe. 1713 1756 第 7 回 European Overseas Relations in the Eighteenth Century 第 8 回 Changing Aspects of Warfare and Diplomacy towards the end of the eighteenth century 第 9 回 Theories of International Relations and the Emergence of International Law 第 10 回 The War of American Independence		
単位取得要件	Regular attendance, the writing of one satisfactory report and / or the passing of a term-end examination are the requirements for the awarding of two credit points.		
授業外の予習復習方法			
教材等	Black, Jeremy, ed.: European Warfare. 1453 1815 (Basingstoke, 1999). Black, Jeremy: Rethinking Military History (London, 2007). Black, Jeremy: A Short History of Diplomacy (London, 2010). Duchhardt, Heinz: Balance of Power und Pentarchie (Paderborn, 1997). Klerinschmidt, Harald: Geschichte der internationalen Beziehungen (Stuttgart, 1998). Kleinschmidt, Harald: The Nemesis of Power. A History of International Relations Theories (London, 2000). Strohmeyer, Arno: Theorie der Interaktion (Cologne, 1994).		
オフィスアワー			
学生への要望			

授業科目名	日本政治論		
科目番号	BB31311	単位数	2.0 単位
標準履修年次	2 - 4 年次	時間割	春 AB 木 4,5
担当教員	竹中 佳彦		
授業形態	講義		
授業の目標と概要	<p>【授業目標】現代日本の政治を理解するための理論・歴史・分析視角の修得。 【授業概要】日本の政治を理論、制度、実態、あるいは歴史の各面から概説し、理解を深めます。とくに日本の選挙制度、投票行動、イデオロギー、政党、立法過程などを中心に取り上げます。</p>		
授業の進行予定	<p>受講生の理解度等によって進度と内容が変わりうることをあらかじめご了承ください。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・第 1 回 開講の辞 (ガイダンス) ・第 2 回 「自民党システム」の形成 ・第 3 回 日本政治の仕組み ・第 4 回~第 6 回 日本の選挙制度 ・第 7 回~第 10 回 投票行動とイデオロギー ・第 11 回~第 13 回 日本の政党 ・第 14 回~第 17 回 議会と立法過程 ・第 18 回~第 19 回 マスメディアと政治 ・第 20 回 日本政治の見方 		
単位取得要件	<p>原則として試験により評価します (試験に合格しなければ、どのような事情があれ、単位は与えません)。甚だしく出席が少ない場合には出席をとり、評価に加味することがあります。また私語や遅刻、途中退室など、授業態度が悪い等の場合には、単位を与えないことを含め、評価に反映させることがあります。</p>		
授業外の予習復習方法			
教材等	<p>教科書はとくに指定しません。当日の授業出席者のみにレジユメを配付する予定です。 予習・復習のための参考文献として</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 村松岐夫他『日本の政治 第 2 版』有斐閣、2001 年。 2. 蒲島郁夫『戦後政治の軌跡』岩波書店、2004 年。 3. 三宅一郎『投票行動』東京大学出版会、1988 年。 4. 蒲島郁夫『政治参加』東京大学出版会、1988 年。 5. 蒲島郁夫・竹中佳彦『現代日本人のイデオロギー』東京大学出版会、1996 年。 6. 蒲島郁夫・竹中佳彦『イデオロギー』東京大学出版会、2012 年。 7. 蒲島郁夫他『メディアと政治 改訂版』有斐閣、2010 年。 <p>その他の参考文献は適宜、指示します。</p>		
オフィスアワー	<p>原則として学期中の木曜 3 時限 人文社会学系棟 B410 6533 takenaka.yosihiko.ft at u.tsukuba.ac.jp</p>		
学生への要望	<p>予習・復習を行い、平素より新聞等を購読することが望まれます。</p>		

授業科目名	情報戦略と政治		
科目番号	BB31351	単位数	2.0 単位
標準履修年次	2 - 4 年次	時間割	秋 AB 金 5,6
担当教員	古田 博司		
授業形態	講義		
授業の目標と概要	西洋近代化の完遂と東洋的専制の解体。		
授業の進行予定	<p>第1回1 西洋近代哲学の再構築 アリストテレスの凹鼻(シモン)とDNA。 すべてのものに向こう側があるという「向う側の哲学」の開始。</p> <p>第2回2 西洋近代哲学におけるアングロサクソン哲学の勝利 パークリの向こう側とヒュームの因果律の破壊。 ヒュームの攻撃をかわせなかったカント。</p> <p>第3回3 ポストモダンにおける功利主義哲学の応用 ベンサムによるイギリス哲学の快走。 こちら側の普遍をあきらめ、マーカーを総ざらえする検索エンジン。</p> <p>第4回4 西洋近代哲学におけるドイツ観念論の敗北 「こちら側」に引きこもるフッサールのツッパリ。 向こう側を失い右往左往するドイツ知識人。偉大すぎたプロテスタントの向こう側。 向こう側をエポケーするフッサール。向こう側を狩り場にするハイデガー。</p> <p>第5回5 直観と超越 こちら側優位の時代。 数理工学の時代。因果律とは壊れるものである。</p> <p>第6回6 ニヒリズムの超克 向こう側とこちら側を否定するニヒリスト、ニーチェ。 神は死んだふりをしただけだ。</p> <p>第7回7 東洋的専制主義(Oriental Despotism)との闘争 東アジア反日トライアングル(中国、韓国、北朝鮮)との決別。 ポストモダンを力強く生きる安倍政権。 左翼・市民派・アジア主義者の頹落。</p> <p>第8回8 脱構築には要注意 向こう側との蝶番をはずせというデリダ。 向こう側を怖れる瀆神者たち。脱構築はほどほどに、映画芸術くらいにしましょう。</p> <p>第9回9 歴史の中に未来はない 人間には時間の感覚器がないというベルクソン。 「時間」と「持続」。時間の前件連続消失。歴史認識論の不毛、ヘーゲル哲学の解体。</p> <p>第10回10 国際公共哲学の効用 ウイトゲンシュタインのバシリスク走法。 ウイトゲンシュタインの「あの世」とスウェーデンボルグの「あの世」。 「あの世」はもういない。</p>		
単位取得要件	出席点と期末テスト。		
授業外の予習復習方法			
教材等	<ol style="list-style-type: none"> 1. 「紙の本」はかく語りき(ちくま文庫、2013年) 2. 東アジア「反日」トライアングル(文春新書、2005年) 3. 6月刊行予定のちくま新書 		
オフィスアワー	furuta.hiroshi.gm at u.social.tsukuba.ac.jp http://shakai.social.tsukuba.ac.jp/~furuta/		
学生への要望			

授業科目名	アメリカ外交史		
科目番号	BB31381	単位数	2.0 単位
標準履修年次	2 - 4 年次	時間割	秋 AB 金 3,4
担当教員	松岡 完		
授業形態	講義		
授業の目標と概要	現代の国際政治を理解するうえで重要な意味を持つベトナム戦争について学ぶ。これを手がかりに、冷戦、地域紛争、地域統合、現代アメリカ外交、民族主義、現代戦争など、国際政治のさまざまな側面について考察を深める。		
授業の進行予定	(1) 序論~ベトナム戦争に何を見るか (2) 米ソ冷戦の狭間で~大国と小国の微妙な関係 (3) 赤き旗のもとに集いて~民族解放戦線・北ベトナム・中国の軋轢 (4) 破綻する国家建設戦略~アメリカと南ベトナムの軋轢 (5) 地域防衛と地域創造~ベトナム戦争と東南アジア (6) アメリカの本当の敵~世論に背かれた戦争 (7) 建国 200 年目の敗戦~ベトナム症候群とは (8) 復活途上の超大国~冷戦勝利と 9・11 の影響 (9) 窮屈な制約の中で~アメリカ式戦争花盛り (10) 結論~ベトナム戦争と現代世界		
単位取得要件	学期末レポートおよび平常点 (出席含む)		
授業外の予習復習方法	授業と並行してテキストを読み進むとともに、各人の興味関心に従って、関連するさまざまな本などに接すること。		
教材等	松岡 完 『ベトナム戦争』中公新書、2001 年、900 円。		
オフィスアワー	金曜日 11 時 30 分~12 時 人文社会学系棟 A403 matsuoaka at social.tsukuba.ac.jp		
学生への要望	ベトナム戦争そのものの細かな事実を理解、記憶するのではなく、これをきっかけに国際政治や現代戦争など、広範な問題に目を向けて欲しい。		

授業科目名	現代政治外交 I		
科目番号	BB31401	単位数	2.0 単位
標準履修年次	2 - 4 年次	時間割	秋 AB 木 4,5
担当教員	竹中 佳彦		
授業形態	講義		
授業の目標と概要	<p>【授業目標】現代日本をめぐる政治・外交を理解するための歴史と理論・分析視角の修得。</p> <p>【授業概要】1940年代から70年代半ばまでの日本を取り巻く外交・防衛について概説し、現在、日本が置かれている政治・外交上の諸問題について考えるための材料を提供したいと思います。</p>		
授業の進行予定	<p>受講生の理解度等によって進度と内容が変わりうることをあらかじめご了承ください。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・第1回 開講の辞 (ガイダンス) ・第2回~第3回 国連・憲法と安全保障 ・第4回~第8回 敗戦・占領・憲法制定 ・第9回~第11回 占領政策の転換と講和・安保 ・第12回~第13回 「吉田ドクトリン」 ・第14回~第16回 日ソ国交回復と安保改定 ・第17回~第18回 日韓国交正常化と非核三原則 ・第19回~第20回 日中国交正常化と日中平和友好条約 		
単位取得要件	<p>原則として試験により評価します (試験に合格しなければ、どのような事情があれ、単位は与えません)。甚だしく出席が少ない場合には出席をとり、評価に加味することがあります。また私語や遅刻、途中退室など、授業態度が悪い等の場合には、単位を与えないことを含め、評価に反映させることがあります。</p>		
授業外の予習復習方法			
教材等	<p>教科書はとくに指定しません。当日の授業出席者のみにレジユメを配付する予定です。</p> <p>予習・復習のための参考文献として、</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 松岡完他編『冷戦史』同文館、2003年。 2. 進藤・水戸編『戦後日本政治と平和外交』法律文化社、2007年。 <p>その他の参考文献は適宜、指示します。</p>		
オフィスアワー	<p>原則として学期中の木曜 3 時限 人文社会学系棟 B410 6533 takenaka.yosihiko.ft at u.tsukuba.ac.jp</p>		
学生への要望	予習・復習を行ってください。		

授業科目名	ロシア・東欧の国際関係		
科目番号	BB31431	単位数	2.0 単位
標準履修年次	2 - 4 年次	時間割	春 AB 月 3,4
担当教員	中村 逸郎		
授業形態	講義		
授業の目標と概要	<ol style="list-style-type: none"> 1. ロシアの伝統的な対外政策の特徴を説明できる。 2. ロシア国内の民族独立運動の歴史を概説できる。 3. ロシアとイスラム諸国との外交関係について説明できる。 4. ロシアと日本の関係史を辿ることができる。 		
授業の進行予定	<p>以下の項目を中心に講義を進める。</p> <p>第 1 回ロシア帝政時代の帝国主義的な膨張政策</p> <p>第 2 回スターリン時代の民族政策</p> <p>第 3 回ソ連時代の天然資源外交</p> <p>第 4 回冷戦時代におけるソ連の対米政策</p> <p>第 5 回北方領土交渉の実態</p> <p>第 6 回ロシアと中国、韓国、北朝鮮の対外関係</p> <p>第 7 回ロシアへの移民労働者の流入</p> <p>第 8 回ロシア国内の民族主義の台頭</p> <p>第 9 回ロシアと中東諸国の対外関係</p> <p>第 10 回旧ソ連圏の再編</p>		
単位取得要件	重厚な論述試験等で評価する。		
授業外の予習復習方法			
教材等	<p>以下は参考書。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 中村逸郎『虚栄の帝国ロシア』岩波書店、2007 年 		
オフィスアワー	nakamura at dpipe.tsukuba.ac.jp		
学生への要望			

授業科目名	ロシア政治		
科目番号	BB31441	単位数	2.0 単位
標準履修年次	2 - 4 年次	時間割	秋 AB 木 3,4
担当教員	中村 逸郎		
授業形態	講義		
授業の目標と概要	<ol style="list-style-type: none"> 1. ロシアの政治文化の特徴を説明できる。 2. ロシア・ソ連の民衆の政治意識について理解している。 3. ロシアの中央と地方の関係について説明できる。 4. ソ連共産党支配の実態を説明できる。 		
授業の進行予定	<p>基本的に以下のように講義を進める。ロシア国内で突発的な政治事象が発生したときには、その内容を紹介しながら、ロシアの政治文化、政治制度等について説明する。</p> <ol style="list-style-type: none"> 第 1 回「皇帝」プーチン政治とロシア帝政の比較 第 2 回プーチン時代の官房政治と議会政治の衰退 第 3 回プーチンとロシア正教会の癒着 第 4 回プーチン時代の連邦支配の強化 第 5 回現代ロシア社会における公共性をめぐる民衆のなかの葛藤 第 6 回法支配の伝統的な形骸化の実態 第 7 回政財界の癒着の原因 第 8 回ソ連共産党によるソビエト支配のメカニズム 第 9 回ソ連時代に形成された企業城下町の実態 第 10 回ロシア民主主義の可能性 		
単位取得要件	重厚な論述試験等で評価。		
授業外の予習復習方法			
教材等	<p>下記の書物は参考書。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 中村逸郎『ろくでなしのロシア プーチンとロシア正教』講談社、2013 年 2. 中村逸郎『ロシアはどこに行くのか タンデム型デモクラシーの限界』講談社現代新書、2008 年 3. 中村逸郎『帝政民主主義国家ロシア プーチンの時代』岩波書店、2005 年 4. 中村逸郎『ロシア市民』岩波新書、1999 年 		
オフィスアワー	<p>事前に面会日時を確定すること。 nakamura at dpipe.tsukuba.ac.jp</p>		
学生への要望			

授業科目名	アジアの国際関係		
科目番号	BB31451	単位数	2.0 単位
標準履修年次	2 - 4 年次	時間割	春 AB 月 5,6
担当教員	首藤 もと子		
授業形態	講義		
授業の目標と概要	1 冷戦後のアジアの国際関係の特徴について説明できる。 2 ASEAN をハブとする東アジアの地域主義の特徴と課題について説明できる。		
授業の進行予定	第 1 回 21 世紀のアジアの国際関係－歴史的なパワーシフトとグローバルな課題 第 2 回 アジアにおけるナショナリズムと地域主義の展開－冷戦期のアジアの地域主義、東アジアと南アジアの国際構造の相違 第 3 回 グローバル化時代における重層的な地域主義の機能と制度 第 4 回 ASEAN とハブとするアジアの多国間制度の多様化-アジアの多国間安全保障レジームの評価 第 5 回 中国の台頭とグローバルな権力移行 (Power Transition) 第 6 回 ASEAN 安全保障共同体と紛争の平和的解決の課題 第 7 回 ASEAN 経済共同体と域外諸国・地域との FTA/EPA 交渉の課題 第 8 回 市場のグローバル化と開発の課題 第 9 回 越境的な問題への地域的ガバナンスの課題 第 10 回 アジアにおける越境的な市民社会の可能性と課題		
単位取得要件	出席と中間レポートおよび学期末試験を総合的に評価します		
授業外の予習復習方法			
教材等	授業では毎回レジメを配布しますが、それと別に、以下の文献は教科書に準じる頻度で使用します。 吉川元他編『グローバル・ガバナンス論』法律文化社、2014 年。 山影進編『新しい ASEAN-地域共同体とアジアの中心性を目指して』アジア経済研究所、2011 年。 山影進・広瀬崇子編『南部アジア』ミネルヴァ書房、2011 年。 岩崎育夫『アジア政治とは何か』中公叢書、中央公論新社、2009 年。 その他		
オフィスアワー	メールで事前に連絡してください		
学生への要望			

授業科目名	アジア政治		
科目番号	BB31461	単位数	2.0 単位
標準履修年次	2 - 4 年次	時間割	秋 AB 月 5,6
担当教員	首藤 もと子		
授業形態	講義		
授業の目標と概要	1 アジア諸国の政治を比較するうえで、多様な統治機構の固有の特徴を説明できる。 2 アジア諸国の政治を比較するうえで、普遍的な視点を説明できる。 3 グローバル化時代におけるアジア政治の課題について説明できる。		
授業の進行予定	第 1 回 (1) アジア政治を考える視点 第 2 回 (2) 国家形成と軍の政治的機能 インドネシア、ミャンマー、パキスタンの事例 第 3 回 (3) アジア諸国の統治機構 1. 非民主的民主制度の改革の課題: フィリピンの民主制度の理念と現実 第 4 回 2. 議会制民主制度と覇権的与党連合体制: マレーシアの政治制度と経済開発戦略 第 5 回 3. グローバル化時代の国家管理体制: PAP の開発戦略と新たな課題 第 6 回 4. 多様性と民主的制度の調和の模索: インドネシアの新たな開発戦略とその課題 第 7 回 5. 民主化と保守的権力エリート層の対峙: タイ 第 8 回 6. インドの政党政治の変容: 民主的制度と社会構造 第 9 回 (4) グローバル化時代におけるアジア政治の課題 1. 民主主義とポピュリズム 第 10 回 2. 腐敗とガバナンスの課題		
単位取得要件	出席 (25%) と中間レポート (30%) および学期末試験・または期末レポート (45%) を総合的に評価します。		
授業外の予習復習方法			
教材等	授業では毎回レジメを配布しますが、それと別に参考書については、授業で随時紹介します。以下のものは、参考書として、テーマに応じて利用します。 中村正志編『東南アジアの比較政治学』アジア経済研究所、2012 年。 船津鶴代・永井史男編『変わりゆく東南アジアの地方自治』アジア経済研究所、2012 年。 山影進・広瀬崇子編『南部アジア』ミネルヴァ書房、2011 年。 K.Mizuno and Pasuk Phongpaichit eds., Populism in Asia, Kyoto University Press, 2009. . 岩崎育夫『アジア政治とは何か』中公叢書、中央公論新社、2009 年。その他		
オフィスアワー			
学生への要望			

授業科目名	東アジア国際関係史		
科目番号	BB31471	単位数	2.0 単位
標準履修年次	2 - 4 年次	時間割	春 AB 金 1,2
担当教員	毛利 亜樹		
授業形態	講義		
授業の目標と概要	1. 東アジア国際関係の歴史的背景への理解を深める。 2. 近代から 1970 年代までの東アジア国際秩序の変遷を概説できる。		
授業の進行予定	第 1 回東アジアの「伝統的」国際秩序の変容 第 2 回列強化する日本と東アジア 1 日清戦争 第 3 回列強化する日本と東アジア 2 日露戦争 第 4 回中国をめぐる国際秩序の再編 第 5 回ワシントン体制下の東アジア 第 6 回満州事変と日中戦争 第 7 回アジア太平洋戦争 第 8 回日本の復興と中国・朝鮮半島 第 9 回日本の復興と中国・朝鮮半島 第 10 回アジア冷戦下の日本外交:沖縄返還を中心に		
単位取得要件	出席と学期末試験(論述式)を総合的に評価します。		
授業外の予習復習方法			
教材等	教科書: 川島真・服部龍二『東アジア国際政治史』名古屋大学出版会 参考書: 浅野亮・川井悟『近現代中国政治史』(ミネルヴァ書房、2012 年) そのほか、授業においても参考書および関連論文を適宜紹介します。		
オフィスアワー			
学生への要望			

授業科目名	現代中国研究		
科目番号	BB31481	単位数	2.0 単位
標準履修年次	2 - 4 年次	時間割	秋 AB 金 1,2
担当教員	毛利 亜樹		
授業形態	講義		
授業の目標と概要	1. 中国政治を多面的に理解する視座をもつこと。 2. さまざまにある中国報道を批判的に検討する思考枠組みを持つこと。 3. 東アジア国際関係における中国の多様な役割を検討できるようになること。		
授業の進行予定	第 1 回現代中国へのアプローチ 第 2 回政治体制 1 中華人民共和国成立の歴史的背景 第 3 回政治体制 2 中国政治の 3 つのアクター党・国家・軍 第 4 回政治体制 3 中央・地方関係 第 5 回体制の継続と変容 1 変化する中国共産党 第 6 回体制の継続と変容 2 農村をめぐる政治 第 7 回体制の継続と変容 3 インターネットの普及とナショナリズム 第 8 回地域秩序における中国 1 東アジア地域システムと中国の台頭 第 9 回地域秩序における中国 2 中国の経済協力 第 10 回地域秩序における中国 3 アジア海洋と中国		
単位取得要件	出席と学期末試験（論述式）を総合的に評価します。		
授業外の子習復習方法			
教材等	教科書: 天児慧・浅野亮編著『中国・台湾』（ミネルヴァ書房、2008 年） 加茂具樹・小嶋華津子・星野昌裕・武内宏樹『党国体制の現在』（慶応義塾大学出版会、2012 年） 参考書: 毛里和子『現代中国政治:グローバル・パワーの肖像』（第 3 版）(名古屋大学出版会、2012 年) 浅野亮・川井悟『近現代中国政治史』（ミネルヴァ書房、2012 年）		
オフィスアワー			
学生への要望			

授業科目名	計量分析入門		
科目番号	BB31491	単位数	2.0 単位
標準履修年次	2 - 4 年次	時間割	秋 AB 月・木 3
担当教員	崔 宰栄		
授業形態	講義		
授業の目標と概要	計量分析は、溢れる情報からの物事の意味付け、簡略化、客観化、推定等のため、社会科学等の多くの分野で用いる分析ツールの 1 つである。この授業では、そのツールを正しく使うための基礎統計や使い方の理解を目標とする。		
授業の進行予定	<p>授業目標: 計量分析に必要とする基礎統計とその分析ツールの理解</p> <p>第 1 回 計量分析の概要</p> <p>第 2 回 度数分布表・図</p> <p>第 3 回 度数分布表・図</p> <p>第 4 回 代表値 (平均など)</p> <p>第 5 回 散布度 (偏差、標準偏差、分散など)</p> <p>第 6 回 相関分析</p> <p>第 7 回 相関分析</p> <p>第 8 回 回帰分析</p> <p>第 9 回 回帰分析</p> <p>第 10 回 SPSS の使い方など 授業では、統計の基本概念などの理解と、分析ツール (主にエクセルを使用、SPSS 未定) を用いた演習を行なう。</p>		
単位取得要件	出席、レポートにより総合評価する。 但し、出席回数 3 分の 2 以下の場合、単位取得資格外となる。		
授業外の予習復習方法			
教材等	オリジナルテキスト		
オフィスアワー	常時 (予約要:choe.jaeyoung.fu@u.tsukuba.ac.jp)		
学生への要望			

授業科目名	国境を越える政治		
科目番号	BB31501	単位数	2.0 単位
標準履修年次	2 - 4 年次	時間割	春 AB 火 2,3
担当教員	明石 純一		
授業形態	講義		
授業の目標と概要	<p>【授業目標】グローバル化/トランスナショナル化の進展に伴い生じている政治情勢の変化と公共政策的課題について多角的に理解する能力を身に付ける。</p> <p>【授業概要】移民や難民、国籍や市民権、社会統合や多文化共生、国際労働力移動といったテーマ・概念を適宜取り上げ、理論および具体的事例の両面から検討を進める。</p>		
授業の進行予定	<p>第 1 回:授業ガイダンス</p> <p>第 2 回~第 3 回:国家と国際社会の見方 グローバル化/トランスナショナル化の観点から</p> <p>第 4 回~第 6 回:国際移民の概況と公共政策的課題</p> <p>第 7 回~第 9 回:国際移民をめぐる世界と日本の政治動向</p> <p>第 10 回:中間総括</p> <p>第 11 回~第 13 回:国際労働力移動の政策的管理</p> <p>第 14 回~第 16 回:社会統合と多文化共生</p> <p>第 17 回~第 19 回:難民問題と人道規範</p> <p>第 20 回:総括</p>		
単位取得要件	出席、試験、レポートによる総合評価。		
授業外の予習復習方法			
教材等	テキストは使用せず、毎回レジメを配布。		
オフィスアワー	Eメールにより随時 人文社会学系棟 A409 akashi.junichi.fu at u.tsukuba.ac.jp		
学生への要望			

授業科目名	政治学外書講読 I(英語)		
科目番号	BB31102	単位数	1.0 単位
標準履修年次	2・3 年次	時間割	春 AB 火 4
担当教員	明石 純一		
授業形態	演習		
授業の目標と概要	政治学に関する英語文献を講読し、専門的な英語文献を自力で読みこなす能力を養う。		
授業の進行予定	テキストを指定し、受講者による内容報告をもとに討論、解題を行う。		
単位取得要件	出席、報告内容、レポート (もしくは学期末試験) により総合的に判断する。		
授業外の予習復習方法			
教材等	テキストは開講時に指示する。		
オフィスアワー	Eメールにより随時 人文社会学系棟 A409 akashi.junichi.fu at u.tsukuba.ac.jp		
学生への要望			

授業科目名	政治学外書講読 II(英語)		
科目番号	BB31502	単位数	1.0 単位
標準履修年次	2・3 年次	時間割	秋 AB 火 5
担当教員	崔 宰栄		
授業形態	演習		
授業の目標と概要	政治学に関する英語文献を講読し、専門的な英語文献を自力で読みこなす能力を養う。		
授業の進行予定	テキストを指定し、受講者による和訳の添削をし、外書のたどしい読み方を中心とした授業を行う。 受講者は、添削された内容をしっかり見直し、授業に臨むこと。 テキストや授業の進め方の詳細については、開講時に指示する。		
単位取得要件	出席・添削内容の見直し状況など総合的に評価する。 但し、出席回数 3 分の 2 以下の場合、単位取得資格外となる。		
授業外の子習復習方法			
教材等			
オフィスアワー	常時 (予約要:choe.jaeyoung.fu@u.tsukuba.ac.jp)		
学生への要望			

授業科目名	政治学入門演習		
科目番号	BB32122	単位数	2.0 単位
標準履修年次	2 年次	時間割	春 AB 秋 AB 水 6
担当教員	辻中 豊, 近藤 康史		
授業形態	演習		
授業の目標と概要	【授業目標】 政治学における基礎的な概念・方法・知識の修得。 【授業概要】 政治学の基礎概念について,2 年生を対象として, 政治学研究への入門的指導を 2 期に分けて行う。		
授業の進行予定	第 1 回 ガイダンス, 第 2~10 回 各自の報告と討論 第 11 回 ガイダンス, 第 12~20 回 各自の報告と討論		
単位取得要件	授業への出席状況および各担当教員の総合評価。		
授業外の予習復習方法	学期当初に担当教員が指示する。		
教材等	学期当初に担当教員が指示する。		
オフィスアワー			
学生への要望	授業での報告・討論への積極的な参加と授業外の予習・復習を求める。		

授業科目名	政治学演習 I		
科目番号	BB32132	単位数	2.0 単位
標準履修年次	3 年次	時間割	春 AB 木 6; 秋 AB 木 6
担当教員	辻中 豊		
授業形態	演習		
授業の目標と概要	社会科学の問題意識や基礎知識・技能の共有化を図りつつ、各自が自己の問題意識に基づき、現代政治・社会に関する創発的・原著的研究を行う。問題意識、文献の体系的レビュー、経験的な分析方法(データ収集・分析から研究計画、仮説設定・検証まで)を踏まえて、論文を執筆する。		
授業の進行予定	<p>社会科学の方法論を 1 学期にしっかり修得してもらいたいと思います。研究者やジャーナリスト、政治家、NGO・NPO の活動家の志望者にも向いているゼミだと思います。また大学院修士課程の留学生、同志望の研究生(留学生)など多国籍の学生を交えた国際的なゼミの運営を目指します。年度途中から海外に留学する学生も参加可能 [継続履修あり] です。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 4~6 月: 受講者の関心に応じて共通のテキストを選定し、論文の書き方を研究する。この間、OH を利用して問題意識を文章化し、6 月に Proposal を発表する ・ 夏休み: 日本と世界の文献の体系的収集とレビュー ・ 9~10 月 (合宿を予定): 中間発表 (A4 で 10 ページ以上) ・ 10~11 月: 共通のテキストを用いて方法論を研究する ・ 12 月: 最終発表 ・ 1 月: 論文提出 		
単位取得要件	課題の提出, 研究発表, 論文提出		
授業外の前習復習方法	研究(自分) ノートを作成し、演習時間の内外を問わず活用すること。		
教材等	適宜指示する。		
オフィスアワー	月曜・金曜各 17:00-19:00 共同研究棟 A 306 tsujinak at sakura.cc.tsukuba.ac.jp http://tsujinaka.net/ (久保) 木曜 15:15-16:30 ゼミ生専用オフィスアワー		
学生への要望			

授業科目名	政治学演習 II		
科目番号	BB32142	単位数	2.0 単位
標準履修年次	4 年次	時間割	春 AB 秋 AB 木 6
担当教員	辻中 豊		
授業形態	演習		
授業の目標と概要	社会科学の問題意識や基礎知識・技能の共有化を図りつつ、各自が自己の問題意識に基づき、現代政治・社会に関する創発的・原著的研究を行う。問題意識、文献の体系的レビュー、経験的な分析方法(データ収集・分析から研究計画、仮説設定・検証まで)を踏まえて、論文を執筆する。		
授業の進行予定	社会科学の方法論を1学期にしっかり修得してもらいたいと思います。研究者やジャーナリスト、政治家、NGO・NPOの活動家の志望者にも向いているゼミだと思います。また大学院修士課程の留学生、同志望の研究生(留学生)など多国籍の学生を交えた国際的なゼミの運営を目指します。年度途中から海外に留学する学生も参加可能[継続履修あり]です。 <ul style="list-style-type: none"> ・前半:関心のあるテーマの文献を読み進めながら、卒業研究の問題意識を固める ・前半:並行して、将来の進路、職業選択の体系的な検討。就職活動や受験準備を行う ・後半(7,8月以降):原著的で実証的な卒業研究にとりかかる ・10月:中間発表 ・12月:最終発表 ・1月:論文提出 		
単位取得要件	課題の提出, 研究発表, 論文提出		
授業外の予習復習方法	研究(自分)ノートを作成し、演習時間の内外を問わず活用すること。		
教材等	適宜指示する。		
オフィスアワー	月曜・金曜各 17:00-19:00 共同研究棟 A 306 tsujinak at sakura.cc.tsukuba.ac.jp http://tsujinaka.net/ (久保) 木曜 15:15-16:30 ゼミ生専用オフィスアワー		
学生への要望			

授業科目名	比較政治学演習 I		
科目番号	BB32152	単位数	2.0 単位
標準履修年次	3 年次	時間割	春 AB 秋 AB 火 4
担当教員	鈴木 創		
授業形態	演習		
授業の目標と概要	日本や諸外国における選挙と政策形成に関する文献を講読し、比較の視点も交えながら各国の政治を考察する。		
授業の進行予定	1. 共通の文献を読み、毎回報告者を決めて報告、質疑、討論を行う。受講者全員が文献の内容を理解するだけでなく、それに対するコメントを用意してゼミに臨むこと。 2. 各自の自由な関心に基づいてテーマを設定し、文献報告・研究報告を定期的に行う。最終的にゼミ論文を執筆する。		
単位取得要件	出席、報告、討論への参加、ゼミ論文などで総合的に評価する。		
授業外の予習復習方法			
教材等	開講時に指示する。		
オフィスアワー	予約により随時。 人文社会学系棟 B408 853-5884		
学生への要望	各回の報告者はもちろん、全員が積極的に討論に参加することを期待する。		

授業科目名	比較政治学演習 II		
科目番号	BB32162	単位数	2.0 単位
標準履修年次	4 年次	時間割	春 AB 秋 AB 火 4
担当教員	鈴木 創		
授業形態	演習		
授業の目標と概要	日本や諸外国における選挙と政策形成に関する文献を講読し、比較の視点も交えながら各国の政治を考察する。		
授業の進行予定	1. 共通の文献を読み、毎回報告者を決めて報告、質疑、討論を行う。受講者全員が文献の内容を理解するだけでなく、それに対するコメントを用意してゼミに臨むこと。 2. 各自の自由な関心に基づいてテーマを設定し、文献報告・研究報告を定期的に行う。最終的にゼミ論文を執筆する。		
単位取得要件	出席、報告、討論への参加、ゼミ論文などで総合的に評価する。		
授業外の予習復習方法			
教材等	開講時に指示する。		
オフィスアワー	予約により随時。 人文社会学系棟 B408 853-5884		
学生への要望	各回の報告者はもちろん、全員が積極的に討論に参加することを期待する。		

授業科目名	国際政治学演習 I		
科目番号	BB32172	単位数	2.0 単位
標準履修年次	3 年次	時間割	春 AB 秋 AB 月 6
担当教員	南山 淳		
授業形態	演習		
授業の目標と概要	国際政治理論と国際紛争の具体的事例と関連づけながら現代国際紛争の諸問題について検討する。		
授業の進行予定	<p>「社会科学」としての国際政治学に必要な思考訓練を徹底して行い、現代国際政治分析に不可欠なスキルの修得を目標とする。例年、テキスト輪読、学生による研究報告と討論、他大学との合同ゼミ（学生によるディベート）等を実施しているが、具体的な内容については受講者と相談のうえで決定する。3 年次は、各自研究テーマを決定し、卒業論文（またはゼミ論文）の構成目次および概要（4000 字程度）の提出、卒業年次は同論文の完成稿提出を各年度の主な単位取得要件として研究指導を行う。現代国際紛争および国際政治研究に関心があり、かつ意欲のある者であれば、学類・主専攻は問わないが、合同ゼミ等、正規のゼミ時間以外の活動への参加も単位取得要件に含まれているので、その点を踏まえて履修すること。</p>		
単位取得要件	出席状況、ゼミにおける発言・報告内容、卒業論文またはゼミ論文（3 年次は論文概要）等による総合評価。		
授業外の予習復習方法	毎日、2 紙以上の新聞を読んでください。		
教材等	吉川直人・野口和彦 編『国際関係理論』（勁草書房）；高根正昭『創造の方法学』（講談社現代新書）；茂木秀昭『ザ・ディベート』（ちくま新書）；戸田山和久『新版 論文の教室』（NHK ブックス）		
オフィスアワー	随時（要予約） E-mail: minamiyama.atsush.ff@u.tsukuba.ac.jp		
学生への要望	何事についても「積極性」と「自主性」を持って行動してください。無断欠席厳禁。		

授業科目名	国際政治学演習 II		
科目番号	BB32182	単位数	2.0 単位
標準履修年次	4 年次	時間割	春 AB 秋 AB 月 6
担当教員	南山 淳		
授業形態	演習		
授業の目標と概要	国際政治理論と国際紛争の具体的事例と関連づけながら現代国際紛争の諸問題について検討する。無断欠席厳禁。		
授業の進行予定	「社会科学」としての国際政治学に必要な思考訓練を徹底して行い、現代国際政治分析に不可欠なスキルの修得を目標とする。例年、テキスト輪読、学生による研究報告と討論、他大学との合同ゼミ（学生によるディベート）等を実施しているが、具体的な内容については受講者と相談のうえで決定する。3 年次は、各自研究テーマを決定し、卒業論文（またはゼミ論文）の構成目次および概要（4000 字程度）の提出、卒業年次は同論文の完成稿提出を各年度の主な単位取得要件として研究指導を行う。現代国際紛争および国際政治研究に関心があり、かつ意欲のある者であれば、学類・主専攻は問わないが、合同ゼミ等、正規のゼミ時間以外の活動への参加も単位取得要件に含まれているので、その点を踏まえて履修すること。		
単位取得要件	出席状況、ゼミにおける発言・報告内容、卒業論文またはゼミ論文（3 年次は論文概要）等による総合評価。		
授業外の予習復習方法	毎日、2 紙以上の新聞を熟読することを習慣にしてください。		
教材等	吉川直人・野口和彦 編『国際関係理論』（勁草書房）；土佐弘之 編『グローバル政治理論』（人文書院）；藤原帰一『戦争の条件』（集英社新書）；高根正昭『創造の方法学』（講談社現代新書）；茂木秀昭『ザ・ディベート』（ちくま新書）；戸田山和久『新版 論文の教室』（NHK ブックス）		
オフィスアワー	随時（要予約） E-mail: minamiyama.atsush.ff@u.tsukuba.ac.jp		
学生への要望	ゼミ期間中は活字と議論にまみれながら思考する生活と格闘してください！		

授業科目名	現代政治外交演習 I		
科目番号	BB32192	単位数	2.0 単位
標準履修年次	3 年次	時間割	春 AB 秋 AB 木 2
担当教員	竹中 佳彦		
授業形態	演習		
授業の目標と概要	<p>【授業目標】 輪読に基づく討論を通じて、日本の政治・外交、または政治学について研究するとともに、ゼミ論文もしくは卒業論文を完成させること。</p> <p>【授業概要】 現代日本の政治、あるいは外交に関する文献を輪読するとともに、ゼミ論文（註・参考文献つき、400 字詰め原稿用紙換算 20 枚以上）を完成させることを目指します。</p> <p>【学生への要望】 ゼミ論文は、400 字×20 枚以上、註・参考文献リストつき、ワープロソフトで 40 字×30 行/頁とし、フロッピーディスク及びアウトプットを提出してもらいます。テーマは、日本の政治・外交・政治史・政治思想、比較政治、政治学に関するものから、各自の関心によって選択してかまいません。ただし何度でも書き直しをお願いすることがありますので、それに耐えられるだけの忍耐力が必要です。卒業論文はゼミ論文以上の内容・分量等を要求します。</p>		
授業の進行予定	<ul style="list-style-type: none"> ・第 1 回 ガイダンス、輪読する書物の決定 ・第 2 回 割り当て、報告の仕方 ・第 3 回 論文の書き方 ・第 4 回 資料収集の方法 ・第 5 回 輪読（報告と討論） ・6 月終わり ゼミ論テーマ調査 ・10 月末までに、ゼミ論の第 1 稿を提出してもらいます。 ・11 月～12 月 ゼミ論の中間報告をしてもらうことがあります。 ・12 月末までに、ゼミ論の最終稿を提出してもらいます。 		
単位取得要件	ゼミ論、出席、日常の報告の内容、討論への参加度を総合的に評価します。ゼミ論を提出しない場合は、単位を与えません。無断欠席を 3 回した場合には履修放棄したものとみなします。報告が悪い場合には何度でも報告をしてもらいます。		
授業外の予習復習方法			
教材等	受講者と相談のうえ決定します。論文の書き方等については、 1. 中道寿一編『政策研究』（福村出版、2011 年）。		
オフィスアワー	原則として学期中の木曜 3 時限 人文社会学系棟 B410 6533 takenaka.yosihiko.ft at u.tsukuba.ac.jp		
学生への要望	エントリーシートを提出し、受講許可を得た人のみ履修できます。ゼミ論文は、400 字×20 枚以上、註・参考文献リストつき、ワープロソフトで 40 字×30 行/頁とし、ファイルおよびアウトプットを提出してもらいます。テーマは、日本の政治・外交・政治史・政治思想、比較政治、政治学に関するものから、各自の関心によって選択してかまいません。ただし何度でも書き直しをお願いすることがありますので、それに耐えられるだけの忍耐力が必要です。卒業論文はゼミ論文以上の内容・分量等を要求します。ゼミ論は 12 月末までに完成させてください。		

授業科目名	現代政治外交演習 II		
科目番号	BB32202	単位数	2.0 単位
標準履修年次	4 年次	時間割	春 AB 秋 AB 木 2
担当教員	竹中 佳彦		
授業形態	演習		
授業の目標と概要	<p>【授業目標】 輪読に基づく討論を通じて、日本の政治・外交、または政治学について研究するとともに、ゼミ論文もしくは卒業論文を完成させること。</p> <p>【授業概要】 現代日本の政治、あるいは外交に関する文献を輪読するとともに、ゼミ論文（註・参考文献つき、400 字詰め原稿用紙換算 20 枚以上）を完成させることを目指します。</p>		
授業の進行予定	<ul style="list-style-type: none"> ・ 第 1 回 ガイダンス、輪読する書物の決定 ・ 第 2 回 割り当て、報告の仕方 ・ 第 3 回 論文の書き方 ・ 第 4 回 資料収集の方法 ・ 第 5 回 輪読（報告と討論） ・ 6 月終わり ゼミ論テーマ調査 ・ 10 月末までに、ゼミ論の第 1 稿を提出してもらいます。 ・ 11 月～12 月は、ゼミ論の中間報告をしてもらうことがあります。 ・ 12 月末までに、卒論またはゼミ論の最終稿を提出してもらいます。卒論は、その後、少し手直しを加えて、1 月に事務に提出してください。 		
単位取得要件	ゼミ論、出席、日常の報告の内容、討論への参加度を総合的に評価します。ゼミ論を提出しない場合は、単位を与えません。無断欠席を 3 回した場合には履修放棄したものとみなします。報告が悪い場合には何度でも報告をしてもらいます。		
授業外の予習復習方法			
教材等	受講者と相談のうえ決定します。論文の書き方等については、 1. 中道寿一編『政策研究』（福村出版、2011 年）。		
オフィスアワー	原則として学期中の木曜 3 時限 人文社会学系棟 B410 6533 takenaka.yosihiko.ft at u.tsukuba.ac.jp		
学生への要望	エントリーシートを提出し、受講許可を得た者のみ履修できます。ゼミ論文は、400 字×20 枚以上、註・参考文献リストつき、ワープロソフトで 40 字×30 行/頁とし、ファイルおよびアウトプリントを提出してもらいます。テーマは、日本の政治・外交・政治史・政治思想、比較政治、政治学に関するものから、各自の関心によって選択してかまいません。ただし何度でも書き直しをお願いすることがありますので、それに耐えられるだけの忍耐力が必要です。卒業論文はゼミ論文以上の内容・分量等を要求します。卒論またはゼミ論は 12 月末までに完成させてください。		

授業科目名	東洋政治思想演習 I		
科目番号	BB32232	単位数	2.0 単位
標準履修年次	3 年次	時間割	春 AB 秋 AB 火 5
担当教員	古田 博司		
授業形態	演習		
授業の目標と概要	古田が学生一人一人に合わせて課題を出し、学生はそれをこなしてきて発表する。		
授業の進行予定			
単位取得要件	課題への取り組み		
授業外の予習復習方法			
教材等	1. 「紙の本」はかく語りき (ちくま文庫、2013 年)		
オフィスアワー	furuta.hiroshi.gm at u.social.tsukuba.ac.jp http://shakai.social.tsukuba.ac.jp/~furuta/		
学生への要望			

授業科目名	アメリカ外交史演習 I		
科目番号	BB32252	単位数	2.0 単位
標準履修年次	3 年次	時間割	春 AB 秋 AB 金 5
担当教員	松岡 完		
授業形態	演習		
授業の目標と概要	アメリカを中心に、冷戦期およびその後の国際政治史について学ぶこと。口頭での報告と質疑・討論、レジュメの作成、ゼミ論文の執筆などをつうじて、一定の問題について疑問を抱き、それについて自分なりに調べ、その要点をまとめ、考えを発表する訓練を積み、それを今後の研鑽の基礎とすること。		
授業の進行予定	テキストの輪読や各自の研究発表を考えているが、参加者の関心を優先し、必ずしも狭い意味の「アメリカ外交史」にはこだわらず、広く国際政治史全般を学ぶ機会とする。年間の予定や授業の進め方、テキストの選定など、詳細については 4 月の顔合わせの際に協議する。		
単位取得要件	ゼミ論文、および平常 (出席を含む) 点		
授業外の予習復習方法	ゼミ論文の完成を念頭に、各自で広く、深く勉強をして欲しい。		
教材等			
オフィスアワー	金曜日 11 時 30 分~12 時 人文社会学系棟 A403 matsuoaka at social.tsukuba.ac.jp		
学生への要望	第 1 回授業には遅刻・欠席しないこと。やむをえない場合は事前に連絡すること。無断欠席・遅刻者には受講を許可しない場合もある。		

授業科目名	アメリカ外交史演習 II		
科目番号	BB32262	単位数	2.0 単位
標準履修年次	4 年次	時間割	春 AB 秋 AB 金 5
担当教員	松岡 完		
授業形態	演習		
授業の目標と概要	アメリカを中心に、冷戦期及びその後の国際政治史について学ぶこと。口頭での報告と質疑・討論、レジュメの作成、ゼミ論文の執筆などをつうじて、一定の問題について疑問を抱き、それについて自分なりに調べ、その要点をまとめ、考えを発表する訓練を積み、それを今後の研鑽の基礎とすること。		
授業の進行予定	テキストの輪読や各自の研究発表を考えているが、参加者の関心を最優先し、必ずしも狭い意味の「アメリカ外交史」にはこだわらず、広く国際政治史全般を学ぶ機会とする。年間予定や授業の進め方、テキストの選定など、詳細は 4 月の顔合わせの際に協議する。		
単位取得要件	ゼミ論文、および平常 (出席を含む) 点		
授業外の予習復習方法	ゼミ論文の完成を念頭に、国際政治史全般について広く、深く、勉強して欲しい。		
教材等			
オフィスアワー	金曜日 11 時 30 分~12 時 人文社会学系棟 A403 matsuoaka at social.tsukuba.ac.jp		
学生への要望	第 1 回授業には遅刻・欠席しないこと。やむをえない場合は事前に連絡すること。無断欠席・遅刻者には受講を許可しない場合もありうる。		

授業科目名	現代政治分析演習 I		
科目番号	BB32272	単位数	2.0 単位
標準履修年次	3 年次	時間割	春 AB 秋 AB 火 6
担当教員	近藤 康史		
授業形態	演習		
授業の目標と概要	参加者による文献報告や研究報告を通じ、現代政治上の様々な論点について分析・議論し、幅広い政治学的知識や思考、視角を獲得する。様々な政治分析の理論・方法について理解するとともに、実際に政治分析を行う力を養うことを目標とする。その上で、自分の関心あるテーマに対し、複眼的・多角的にアプローチできる力の修得を目指す。		
授業の進行予定	<p>【春学期】 現代政治上の諸テーマに関する文献を読み、議論する。扱う文献は参加者の関心を聞いた上で選択するが、現代政治上のアクチュアルな論点を対象としながら、理論や方法、比較など、政治分析の基礎的な手法を実践的に学べるものを取り上げる。これらの過程で問題の立て方や事例選択、理論の適用のしかたなど、政治学の研究手法や論文の書き方について学ぶとともに、文献の読み方やプレゼン手法、議論のスキルを高める。</p> <p>【秋学期】 各自が、自らの関心にしたがって選択した文献の報告を行い、今後の研究テーマや方向性の明確化を図る。</p> <p>【その他】 他大学との交流として、一橋大学との合同ゼミを行う予定 (例年 11 月頃)。</p>		
単位取得要件	出席、報告、議論、提出物など、ゼミでのパフォーマンスで総合的に判断。		
授業外の予習復習方法	(1) テキスト (毎週、新書半分ないし論文 1 本程度) を読んでくることが求められるとともに、自らの状況に応じて (2) 各自の関心に従ってその他の政治学文献を読むこと、(3) 新聞等を通じて現在の政治状況に関心を払うことが要求される。		
教材等			
オフィスアワー	火曜日 15:00~16:00 人文社会学系棟 B412		
学生への要望			

授業科目名	現代政治分析演習 II		
科目番号	BB32282	単位数	2.0 単位
標準履修年次	4 年次	時間割	春 AB 秋 AB 火 6
担当教員	近藤 康史		
授業形態	演習		
授業の目標と概要	<p>(1) 参加者による文献報告や研究報告を通じ、現代政治上の様々な論点について分析・議論し、幅広い政治学的知識や思考、視角を獲得する。様々な政治分析の理論・方法について理解するとともに、実際に政治分析を行う力を養うことを目標とする。その上で、自分の関心あるテーマに対し、複眼的・多角的にアプローチできる力の修得を目指す。</p> <p>(2) 卒業論文あるいはゼミ論文を執筆する。</p>		
授業の進行予定	<p>【春学期】 現代政治上の諸テーマに関する文献を読み、議論する。扱う文献は参加者の関心を聞いた上で選択するが、現代政治上のアクチュアルな論点を対象としながら、理論や方法、比較など、政治分析の基礎的な手法を実践的に学べるものを取り上げる。これらの過程で問題の立て方や事例選択、理論の適用のしかたなど、政治学の研究手法や論文の書き方について学ぶとともに、文献の読み方やプレゼン手法、議論のスキルを高める。</p> <p>【秋学期】 卒業論文あるいはゼミ論文についての中間報告を、順次行う。</p> <p>【その他】 他大学との交流として、一橋大学との合同ゼミを行う予定(例年 11 月頃)。</p>		
単位取得要件	出席、報告、議論、提出物など、ゼミでのパフォーマンスで総合的に判断。		
授業外の予習復習方法	(1) テキスト(毎週、新書半分ないし論文 1 本程度)を読んでもらうことが求められるとともに、自らの状況に応じて(2) 各自の関心に従ってその他の政治学文献を読むこと、(3) 新聞等を通じて現在の政治状況に関心を払うことが要求される。		
教材等			
オフィスアワー	火曜日 15:00~16:00 人文社会学系棟 B412		
学生への要望			

授業科目名	計量分析演習 I		
科目番号	BB32312	単位数	2.0 単位
標準履修年次	3 年次	時間割	春 AB 秋 AB 火 2
担当教員	崔 宰栄		
授業形態	演習		
授業の目標と概要	政治学における統計的な分析手法の概念・使い方などを修得するとともに、卒論に必要とされる分析方法などを議論する。		
授業の進行予定	受講者の関心分野などを確認し、関連分析方法などを議論する。		
単位取得要件	出席、日常の報告の内容、討論への参加度を総合的に評価。 但し、出席回数 3 分の 2 以下の場合、単位取得資格外となる。		
授業外の予習復習方法			
教材等			
オフィスアワー	常時 (予約要:choe.jaeyoung.fu@u.tsukuba.ac.jp)		
学生への要望			

授業科目名	計量分析演習 II		
科目番号	BB32322	単位数	2.0 単位
標準履修年次	4 年次	時間割	春 AB 秋 AB 火 2
担当教員	崔 宰栄		
授業形態	演習		
授業の目標と概要	政治学における統計的な分析手法の概念・使い方などを修得するとともに、卒論で必要とされる分析方法を議論する。		
授業の進行予定	受講者の卒論テーマを確認し、必要な分析方法などを議論する。		
単位取得要件	出席、日常の報告の内容、討論への参加度を総合的に評価。 但し、出席回数 3 分の 2 以下の場合、単位取得資格外となる。		
授業外の子習復習方法			
教材等			
オフィスアワー	常時 (予約要:choe.jaeyoung.fu@u.tsukuba.ac.jp)		
学生への要望			

授業科目名	国境を越える政治演習 I		
科目番号	BB32332	単位数	2.0 単位
標準履修年次	3 年次	時間割	春 AB 秋 AB 水 6
担当教員	明石 純一		
授業形態	演習		
授業の目標と概要	<p>【授業目標】国際人口移動や移民政策を題材として現代社会・政治についての理解を深める。</p> <p>【授業概要】受講生各自の関心にもとづきテーマを選び、研究計画を準備し、調査・分析をおこない、その結果を発表(口頭・論文)する。</p>		
授業の進行予定	<p>(1) 関連文献の読解と報告</p> <p>(2) 研究計画の作成と点検</p> <p>(3) 論文の執筆と発表</p>		
単位取得要件	平常点(出席と報告内容)および論文。		
授業外の予習復習方法			
教材等	受講生の問題関心にもとづいて文献を選択。		
オフィスアワー	Eメールにより随時 人文社会学系棟 A409 akashi.junichi.fu at u.tsukuba.ac.jp		
学生への要望			

授業科目名	国境を越える政治演習 II		
科目番号	BB32342	単位数	2.0 単位
標準履修年次	4 年次	時間割	春 AB 秋 AB 水 6
担当教員	明石 純一		
授業形態	演習		
授業の目標と概要	<p>【授業目標】国際人口移動や移民政策を題材として現代社会・政治についての理解を深める。</p> <p>【授業概要】受講生各自の関心にもとづきテーマを選び、研究計画を準備し、調査・分析をおこない、その結果を発表(口頭・論文)する。</p>		
授業の進行予定	<p>(1) 関連文献の読解と報告</p> <p>(2) 研究計画の作成と点検</p> <p>(3) 論文の執筆と発表</p>		
単位取得要件	平常点(出席と報告内容)および論文。		
授業外の予習復習方法	受講生の問題意識にもとづいて文献を選択。		
教材等			
オフィスアワー	Eメールにより随時 人文社会学系棟 A409 akashi.junichi.fu at u.tsukuba.ac.jp		
学生への要望			